

社会資本総合整備計画評価審議資料【道路建設課】

○計画の名称

⑤「福井と岐阜を結ぶ美濃街道、中部縦貫自動車道等を軸とする福井岐阜交流圏域における広域観光活性化計画」

- ・説明資料（スライド） . . . p. 1
- ・社会資本総合整備計画事後評価書 . . . p. 9

事後評価 社会資本総合整備計画

福井と岐阜を結ぶ美濃街道、中部縦貫自動車道等を軸とする
岐阜福井交流圏域における広域観光活性化計画

 県土整備部道路建設課
令和6年2月5日

1

社会資本整備総合交付金について



社会資本整備総合交付金

社会資本総合整備計画の策定

- ・地域が抱える政策課題を地方公共団体自ら抽出
- ・課題に対して3～5年間で達成することを目標とする定量的な指標を設定
- ・目標を達成するために必要な事業箇所を選定
- ・自主的に整備計画の妥当性等を評価した後、計画を国土交通大臣に提出

事業実施(3～5年)

事後評価

【評価事項】

- ①事業の進捗状況
- ②事業効果の発現状況
- ③成果目標の実現状況
- ④今後の方針



- ・岐阜県事業評価監視委員会への意見聴取
- ・事後評価の結果の公表、国土交通大臣への報告

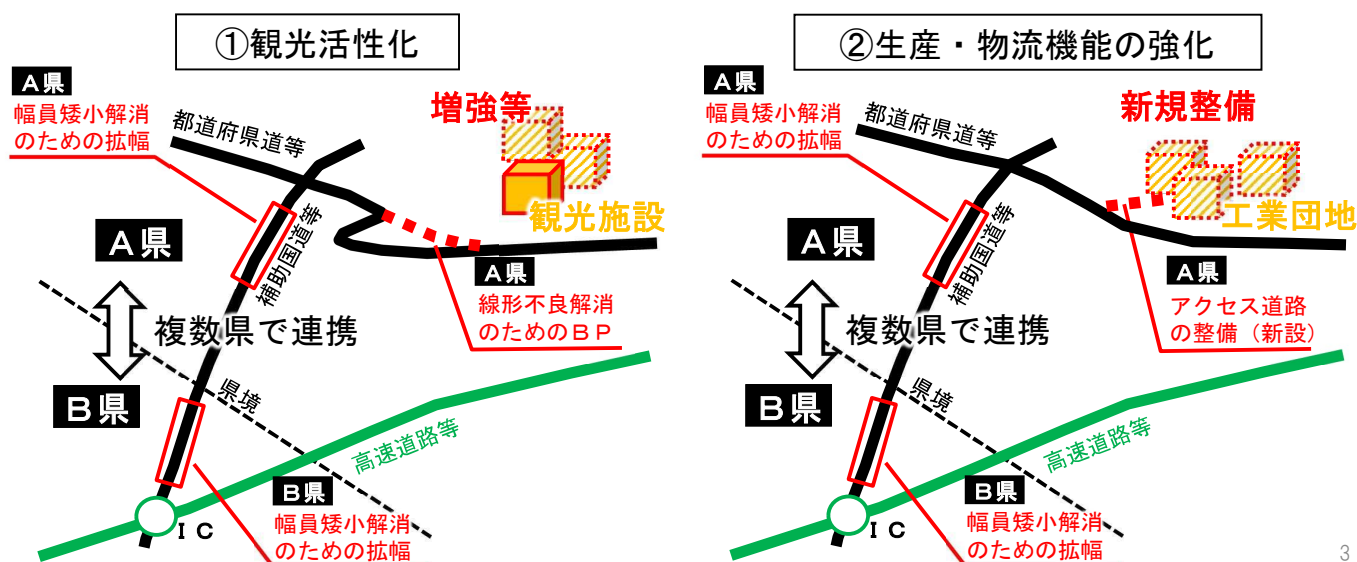
2

事業の趣旨

複数県にわたる人の往来又は物資の流通を活発にする民間等の活動を通じて地域を活性化することを目的に、基盤整備事業等をタイミング良く実施するための事業

対象事業

- ・重点地区内における事業で、拠点施設の整備に関連して一体的に実施することが必要な事業
- ・拠点施設で行われる広域的特定活動に伴う人の往来又は物資の流通に対応するために必要な事業



3

本計画の概要

■計画名

福井と岐阜を結ぶ美濃街道、中部縦貫自動車道等を軸とする岐阜福井交流圏域における広域観光活性化計画

■計画の期間

平成29年度～令和3年度(5年間)

■計画の対象

道路整備事業(現道拡幅、バイパス)

■計画の目標

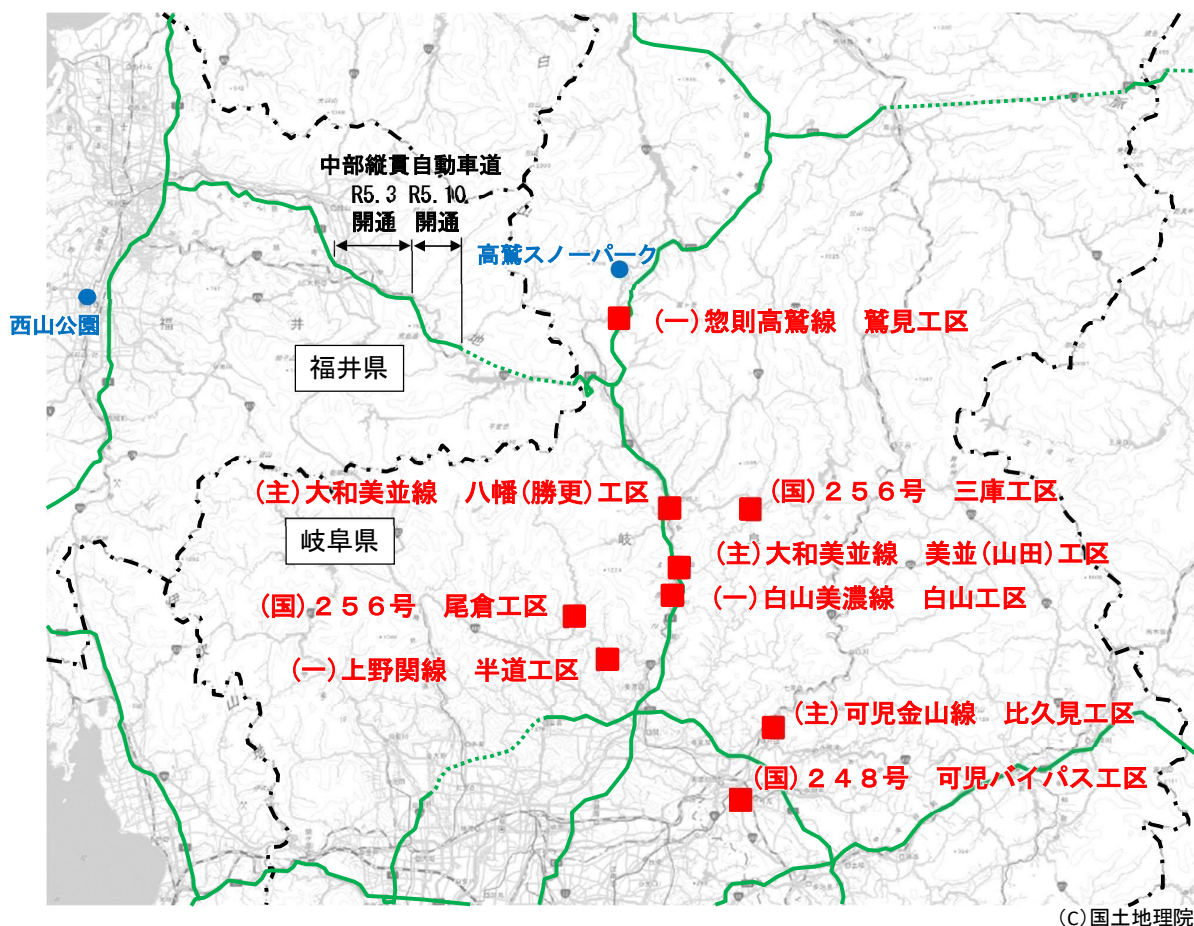
広域的な観光活性化に向けた基盤を整備し、地域の活性化を図る

■計画の成果目標

福井県・岐阜県の観光入込客数を増加させる

→具体的な成果目標

1. 岐阜県(中濃地域)・福井県(嶺北東部地域)における観光入込客数
H27:1,048万人→R3:1,273万人(225万人増)
2. 中濃地域における観光入込客数
H27:908万人→R3:1,121万人(213万人増)



(C) 国土地理院

事業の進捗状況

■ 事業進捗状況

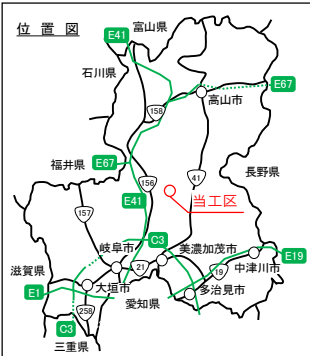
事業箇所	整備箇所	令和3年度まで (計画期間内) に完了	現在整備中 箇所
(国) 256号 三庫工区	郡上市	R3	
(国) 256号 尾倉工区	関市		○
(国) 248号 可児バイパス工区	可児市	R3	
(主) 大和美並線 八幡(勝更)工区	郡上市		○
(主) 大和美並線 美並(山田)工区	郡上市	H29	
(主) 可児金山線 比久見工区	川辺町		○
(一) 惣則高鷲線 鷲見工区	郡上市		○
(一) 上野関線 半道工区	美濃市		○
(一) 白山美濃線 白山工区	郡上市		○
合計	9箇所	3箇所	6箇所

主な事業箇所(事業の実施状況(例))

(国)256号 三庫工区

- みくら
 わら みくら
 よこの
 ~横野
- 整備箇所：郡上市和良町三庫
 - 事業内容：現道拡幅 L=660m
 - 完成：令和3年度
- <事業の目的>

- ◎観光拠点へのアクセス向上
- ◎幅員狭小部の解消、歩道整備



○着手前の状況

写真①



○完成供用後の状況

写真①



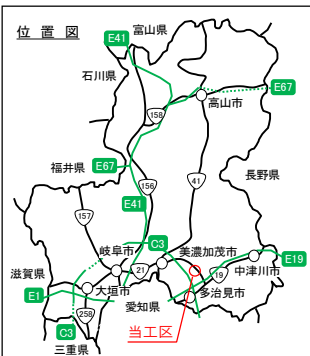
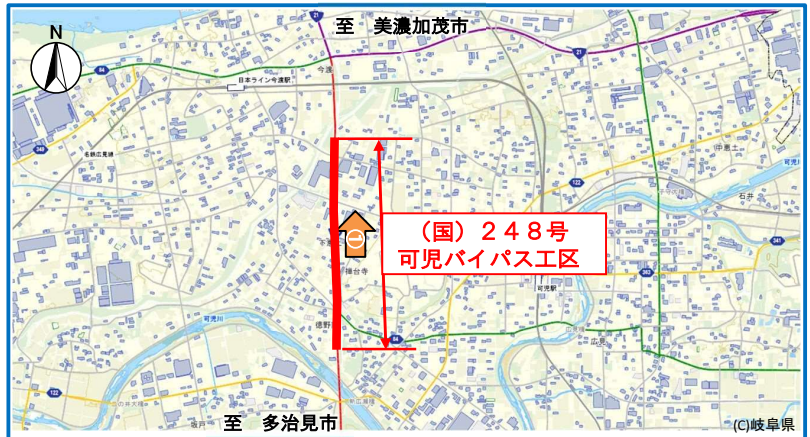
主な事業箇所(事業の実施状況(例))

(国)248号 可児バイパス工区

- かに
 しもえど
- 整備箇所：可児市下恵土
 - 事業内容：現道拡幅 L=1,360m
 - 完成：令和3年度

<事業の目的>

- ◎観光拠点へのアクセス向上
- ◎交通渋滞の解消



○着手前の状況

写真①



○完成供用後の状況

写真①



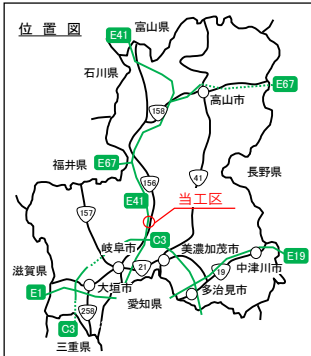
主な事業箇所(事業の実施状況(例))

(主)大和美並線 美並(山田)工区

- 整備箇所：郡上市美並町山田
- 事業内容：現道拡幅 L=460m
- 完 成：平成29年度

<事業の目的>

- ◎ 観光拠点へのアクセス向上
- ◎ 幅員狭小部の解消



○着手前の状況

写真①



○完成供用後の状況

写真①



計画の成果目標(定量的指標)の実現状況

■ 定量的指標

岐阜県(中濃地域)と福井県(嶺北東部地域)の合計：
 観光入込客数1,048万人(H27)⇒1,273万人(R3)に増加(225万人の増)
 中濃地域：観光入込客数908万人(H27)⇒1,121万人(R3)に増加(213万人の増)

■ 定量的指標の算定式

岐阜県(中濃地域)・福井県(嶺北東部地域)における観光入込客数の増加
 (観光入込客数の増加) = (評価時点の観光入込客数) - (H27の観光入込客数)
 中濃地域における観光入込客数の増加
 (観光入込客数の増加) = (評価時点の観光入込客数) - (H27の観光入込客数)

■ 実現状況

()は計画当初(現況値)との差

	計画	実績
岐阜県(中濃地域) 福井県(嶺北東部地域) の観光入込客数	R3末	R3末
	1,273万人(+225万人)	—
中濃地域 の観光入込客数	R3末	R3末
	1,121万人(+213万人)	—

新型コロナウイルス感染症拡大により、分析に必要な観光客へのアンケート調査の実施が困難な時期があったためデータなし

出典：福井県観光客入込数(推計)
 岐阜県観光入込客統計調査より算出 10

【考察】

- ・ コロナ禍においても限られた予算の中で優先順位をつけながら事業を進めたことで一定の成果が発現されているものの、目標達成のためにはアフターコロナを見据え、継続して事業を進める必要がある。



【今後の方針(案)】

- ・引き続き、福井と岐阜を結ぶ美濃街道、中部縦貫自動車道等を軸とする岐阜福井交流圏域における広域観光活性化計画の中で、予算の確保に努め、進捗が遅れた事業箇所も計画的に道路整備を進めていく。

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	福井と岐阜を結ぶ美濃街道、中部縦貫自動車道等を軸とする岐阜福井交流圏域における広域観光活性化計画												
計画の期間	平成29年度	～	令和03年度	(5年間)									
交付対象	岐阜県												
計画の目標	岐阜県と福井県を結ぶ旧街道の「美濃街道」および現在整備中の中部縦貫自動車道等の周辺には多くの歴史的遺産を有しているほか、豊かな自然景観を生かした観光施設が多数存在している。中部北陸圏の知名度向上を図る「昇龍道プロジェクト」とあわせて、これらの旧街道等から各観光拠点のアクセス強化を図り、広域的な観光活性化に向けた基盤を整備することにより、岐阜県、福井県における観光入込客数の増加など地域の活性化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,050	A	3,050	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%
重点配分対象の該当													

番号	計画の成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値			
		当初現況値	中間目標値	最終目標値	
		(H27)	(H31)	(H33)	
1	【岐阜県・福井県 共通目標】 観光入込客数1,048万人(H27)から1,273万人(H31)に増加 (225万人(21%)の増加) 【福井県・岐阜県 共通目標】 観光入込客数 - H27の年間観光入込客数 / (H27年間観光入込客数) (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数) / (H27年間観光入込客数)	1048万人	1202万人	1273万人	
2	【岐阜県 単独目標】 岐阜県中濃地域への観光入込客数を907.6万人(H27)から1120.9万人(H33)に増加 (213.3万人(23%)の増加) 【岐阜県 単独目標】 岐阜県中濃地域への観光入込客数 (観光入込客数の増加) = (評価時点の観光入込客数) - (H27の観光入込客数)	908万人	1054万人	1121万人	

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中核都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期 令和6年2月5日
岐阜県事業評価監視委員会にて意見を聴取し、評価を実施	公表の方法 岐阜県ホームページで公表
○事業効果の発現状況	
<p>限られた予算の中、優先順位をつけ、道路整備を行った結果、令和4年末には観光客数が増加するなど、観光振興による広域的地域活性化に寄与したと考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(国)256号 三倉工区をはじめ7路線 (9か所) の道路整備を推進し、(国)248号 可児バイパス工区が令和5年2月に供用開始したことにより、拠点施設と高速IC間のアクセス性が向上し、広域的な観光活性化に寄与したと考えられる。 <p>【本事業完成で発現される効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A11-003：(国)248号 可児バイパス工区の整備により、拠点施設である可児市文化創造センターと美濃加茂ICとのアクセス時間が3分短縮 	
<p>定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A11-001：(国)256号 三倉工区の整備により、拠点施設である道の駅和良と郡上八幡ICまでのすれ違い困難箇所が解消 ・A11-005：(主)大和美並線 美並 (山田) 工区の整備により、拠点施設である美南ふるさと館と郡上旧庁舎記念館までのすれ違い困難箇所が解消
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
【今後の方針】	
<ul style="list-style-type: none"> ・未完了の事業については、本計画完了後も引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を推進する。 (未完了事業)：A11-002、A11-004、A11-006、A11-007、A11-008、A11-009 	

○目標値の達成状況	
指標 (略称)	
番号	目標値／実績値
	目標値と実績値に差が出た要因 目 標 値 と 実 績 値 福井県と岐阜県内の観光入込客数 1,048万人 (H27) から1,273万人 (H33) に増加 (225万人 (21%) の増加)
1	最終目標値 1273万人 福井県嶺北東部地域と岐阜県中濃地域における観光入込客数は、中間評価時点では、中間目標値 (1,202万人) を上回ったが (R1実績：1,243万人)、最終目標値は達成できなかった。理由としては、本計画で計画していた各事業が完成できなかったことや、新型コロナウイルス感染症が蔓延したことが要因として考えられる。【福井県】 R4実績値：124万人 (参考 R1実績値：161万人)
	最終実績値 1122万人
	岐阜県内の観光入込客数 908万人 (H27) から1,112万人 (H33) に増加 (213万人 (23%) の増加)
2	最終目標値 1121万人 岐阜県中濃地域における観光入込客数は、中間評価時点では、中間目標値 (1,054万人) を上回ったが (R1実績：1,082万人)、最終目標値は達成できなかった。理由としては、本計画で計画していた各事業が完成できなかったことや、新型コロナウイルス感染症が蔓延したことが要因として考えられる。【代表的な拠点施設】 道の駅和良 H27 15万人→R4 15万人 (参考：R1 16万人)
	最終実績値 998万人